

## VI 教育センター事業

### 1. 看護師養成所 実習補完事業

#### 1) 目的

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、看護師等養成所における医療機関等での臨地実習が中止されている実情を踏まえ、学内実習に代替した場合にも学生が同等の知識と技能を修得することができるよう、多職種連携ハイブリッドシミュレーターSCENARIO(以下シミュレーターとする)を整備し、各養成所を支援する。

#### 2) 対象

令和4年度:看護師養成所 35校

#### 3) 期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

#### 4) 事業内容

##### (1) 器材の整備について

臨地実習と同等の知識と技能の修得を図るためには、患者により近い設定ができるシミュレーターが必要である。シナリオが多く掲載され、状況に応じてバイタルサインが変化するなど、患者に見立てることが可能で、学習内容に応じた様々な場면을想定できるシミュレーターとして、令和2年度に「多職種連携ハイブリッドシミュレーターSCENARIO」を8台購入した。それを使用し、効果的な実習の補完ができるよう整備した。

##### (2) シミュレーター(8台)の運用について

###### ① 愛知県看護協会に設置

1台:自校の使用期間以外に各校が使用したい場合または、2台使用したい場合に貸出対応する。

###### ② 県内看護師養成所への貸出し

7台:県内看護師養成所を7グループに分け、各グループに1台ずつ貸出す。

- ・看護師養成所の住所地を参考にグループ分けを行った。
- ・各グループに「協力校」を決め、グループ内の使用調整及び最終設置場所の確保を依頼した。
- ・グループ内で順番に移動配置しながら、校内実習で使用する。

##### (3) 管理及び相談対応について

各学校でのシミュレーターの管理状況や不具合については、看護協会教育センターで対応する。

#### 5) 看護師養成所 実習補完事業 実績

##### (1) 令和4年4月～令和5年3月の実績

令和4年4月～令和5年3月までに愛知県看護協会設置や看護師養成所への貸出し用のハイブリッドシミュレーターを使用した参加者は、延べ2,078人であり、内訳は1年生314人(15.1%)、2年生824人(39.7%)、3年生780人(37.5%)、卒業生17名(0.8%)、その他143名(6.9%)であった。

学年別活用状況は、1年生は基礎看護学(看護過程)事例患者、呼吸困難感を訴える対象のフィジカルア

セスメント、バイタルサイン測定(基礎看護学実習)の技術、シミュレーション演習等に活用し、2年生はフィジカルアセスメントの講義、成人看護学(周術期)(急性期)の事例演習、成人看護学実習の学内演習、臨床看護の実際、オープンキャンパス等に活用し、3年生は成人看護学実習の学内実習、看護技術の統合、緊急時の対応、臨床看護実践、統合実習等に活用している。その他には母体病院の新人看護師研修に活用しているところがあった。

## (2) 令和5年度のシミュレーター使用希望についての調査結果

調査日:令和5年2月21日(火)～3月8日(水)

対象校:34校

回答数:30校(回収率 88.2%)

結果

令和5年度のシミュレーター使用希望について

使用したい	14校
使用希望はない	20校

## (3) 令和5年度の運用方法の検討

令和5年度は、シミュレーター使用希望についての調査結果を基に、使用希望のあった14校をグループ分けし、活用推進を図る。

<まとめ>

令和2年度からの新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い、臨地実習補完を目的にシミュレーターの活用を開始した。

令和4年度に愛知県看護協会設置や看護師養成所への貸出し用のハイブリッドシミュレーターを使用した参加者は年間14校(当初15校が使用予定だったが、実際活用したのは14校であった)延べ2,078人であり、令和3年度の1,784人より若干増加した。臨地実習関連で使用した養成所が4校、5回あった。7月、8月、9月、11月、12月である。それは、7月から始まった新型コロナウイルスの第7波と12月から始まった第8波が影響していると思われる。

令和3年度と令和4年度に使用した養成所数を比較すると14校と1校減少している。14校は補完事業を開始した令和2年度から使用している。ハイブリッドシミュレーターを使用するには、養成所間の受渡しや運搬費負担を伴うが、それにも増して学習効果があるのではないかとと思われる。

また、ハイブリッドシミュレーターは令和3年度から学生のみではなく、新人看護師の研修にも使用されており、令和4年度にはオープンキャンパスにも使用されている。新型コロナウイルスの影響は長く続き、養成所や養成所の母体病院としては従来の方法を見直す必要があったのではないかとと思う。

新型コロナウイルス感染症は令和5年度5月から感染症法の改正により感染症5類となり、対応も変化する。実習の補完目的のみではなく校内実習も含めて有効に活用していただけるとよいと考える。

## 6) 資料

- (1) 看護師養成所実習補完事業シミュレーター運用要領
- (2) 令和4年度 グループ分け・協力校

# 看護師養成所 実習補完事業 実施報告

令和4年3月～令和5年3月

<グループ内配置用>

「使用しない」学校を除く

	学校名	使用年月日	参加学生数					計	授業内容
			1年	2年	3年	4年	その他		
A-1	独立行政法人労働者健康安全機構 中部労災看護専門学校	6/29					14	14	看護師特定行為研修
		8/16			2			2	成人看護学実習Ⅲ追実習（学内実習） 循環器患者の事例
		9/6		35				35	成人看護学ⅡA（周術期）肺がん術後の事例
		10/5	35					35	基礎看護学（看護過程）事例患者
		10/12	35					35	基礎看護学（看護過程）事例患者
		11/4				17	40	57	中部ろうさい病院 新人看護師研修
		11/14			35			35	看護技術の統合 事例患者
		11/16			35			35	看護技術の統合 事例患者
		11/29～12/13			70			70	総合実習（学内実習2日間）
A-2	津島市立看護専門学校	12/15			30		30	緊急時の対応	
B-1	愛知県立総合看護専門学校	12/1	40					40	呼吸困難感を訴える対象のフィジカルアセスメント
		12/16	40					40	呼吸困難感を訴える対象のフィジカルアセスメント
		12/16	40					40	呼吸困難感を訴える対象のフィジカルアセスメント
C-1	愛生会看護専門学校	4/25			28		2	30	臨床看護実践Ⅲ 周術期看護（術後の患者の看護の実際）
		9/28			28			28	臨床看護実践Ⅱ（老年期の患者の看護の実際）
C-2	名鉄看護専門学校	12/9			33			33	統合実習に使用 ・臨床判断能力トレーニング（33名） ・臨地実習中止の対象となった学生の学内実習（8名）
		12/12			33			33	統合実習に使用 ・臨床判断能力トレーニング（33名） ・臨地実習中止の対象となった学生の学内実習（8名）
		12/15			33			33	統合実習に使用 ・臨床判断能力トレーニング（33名） ・臨地実習中止の対象となった学生の学内実習（8名）
		12/16			33			33	統合実習に使用 ・臨床判断能力トレーニング（33名） ・臨地実習中止の対象となった学生の学内実習（8名）
		12/22			33			33	統合実習に使用 ・臨床判断能力トレーニング（33名） ・臨地実習中止の対象となった学生の学内実習（8名）
D-1	公立春日井小牧看護専門学校	1/6		17	1			18	成人看護学演習（急性期）
		2/27	38					38	基礎看護学実習 バイタルサイン測定の手技習得
D-2	専門学校愛知保健看護大学校	4/22			19		4	23	成人看護学実習実習準備
		4/25			10		2	12	成人看護学実習実習準備
		4/27			10		2	12	成人看護学実習実習準備
D-3	公立瀬戸旭看護専門学校	12/20	36					36	シミュレーション演習（気づきを活かした）
		12/21	40					40	シミュレーション演習（気づきを活かした）

	学校名	使用年月日	参加学生数					計	授業内容
			1年	2年	3年	4年	その他		
E-1	愛知県厚生農業協同組合連合会 更生看護専門学校	4/1			3			3	成人看護学実習1の事前練習
		6/13		40				40	フィジカルアセスメント講義
		6/24		40				40	フィジカルアセスメント講義
		7/11		41			2	43	「フィジカルアセスメント」授業にて使用
		9/8			5			5	成人看護学実習2 学内実習（1日）
		9/9			5			5	成人看護学実習2 学内実習（1日）
		12/9		40				40	成人看護方法論5（周手術期）演習
E-2	半田常滑看護専門学校	12/24			15			15	臨床看護技術 事例患者の観察とアセスメント
		12/25			17			17	臨床看護技術 事例患者の観察とアセスメント
		12/26			18			18	臨床看護技術 事例患者の観察とアセスメント
		12/27			10			10	臨床看護技術 事例患者の観察とアセスメント
F-1	岡崎市立看護専門学校	7/30	5	5			12	22	オープンキャンパス
		8/19	5	5			12	22	オープンキャンパス
		9/20			10		1	11	看護の安全 校内実習
F-2	蒲郡市立ソフィア看護専門学校	5/12		38			1	39	周手術期看護
		5/19		38			1	39	急性期看護
		5/23		38			1	39	周手術期看護
		5/25		38			1	39	周手術期看護
		7/11		38			3	41	周手術期看護
		7/13		38			3	41	急性期看護
		7/15			30		1	31	臨地実習（学内演習）
		7/20			30		1	31	臨地実習（学内演習）
		11/2			30		5	35	臨床看護の実践
		11/7			30		5	35	臨床看護の実践
		11/8			30		5	35	臨床看護の実践
		11/13		38			4	42	成人看護学 術後患者のアセスメント
		11/29		38			4	42	「臨地実習 成人看護学Ⅰ」学内でのトレーニング
		11/30		38			4	42	「臨地実習 成人看護学Ⅰ」学内でのトレーニング
12/1		38			4	42	「臨地実習 成人看護学Ⅰ」学内実習		

	学校名	使用年月日	参加学生数					計	授業内容
			1年	2年	3年	4年	その他		
G-1	県立愛知看護専門学校	9/14		35			1	36	周術期看護 術後1日目の看護
		9/22		33			2	35	周術期看護 術後1日目の看護
		12/20		35			1	36	周術期看護 術後1日目の看護
		12/22		33			2	35	周術期看護 術後1日目の看護
G-2	東三河看護専門学校	5/9			6			6	便秘のある患者の看護
		5/10			6			6	便秘のある患者の看護
		5/11			6			6	便秘のある患者の看護
		5/12			6			6	便秘のある患者の看護
		5/13			6			6	便秘のある患者の看護
		7/12			6			6	術後の早期離床の援助
		7/19			6			6	術後の早期離床の援助
		7/26			6			6	術後の早期離床の援助
		8/2			6			6	術後の早期離床の援助
		8/8			6			6	術後の早期離床の援助
		8/16			6			6	術後の早期離床の援助
		8/23			6			6	術後の早期離床の援助
		8/28			6			6	術後の早期離床の援助
		10/3			7			7	呼吸困難の患者の対応
		10/4			7			7	呼吸困難の患者の対応
		10/5			7			7	呼吸困難の患者の対応
10/6			7			7	呼吸困難の患者の対応		
10/7			7			7	呼吸困難の患者の対応		
参加者合計			314	739	779	17	140	1989	

<看護協会設置用>

「使用しない」学校を除く

	学校名	使用年月日	参加学生数					計	授業内容
			1年	2年	3年	4年	その他		
D-1	公立春日井小牧看護専門学校	1/6		17	1			18	成人看護学演習（急性期）
G-1	県立愛知看護専門学校	9/14		35			1	36	周術期看護 術後1日目の看護
		9/22		33			2	35	周術期看護 術後1日目の看護
参加者合計			0	85	1	0	3	89	

## 令和4年度看護師養成所実習補完用 シミュレーター運用要領

目的：新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、看護師等養成所における医療機関等での臨地実習が中止されている実情を踏まえ、学内演習に代替した場合も学生は同等の知識と技能を習得できるよう、シミュレーターを活用し演習の支援を図る。

前提：令和3年度以降、愛知県の看護師養成所等実習代替事業費補助金にて整備したシミュレーター8台は、当協会の所有物として看護師養成所の実習補完の目的で使用を継続する。

「多職種連携ハイブリッドシミュレーターSCENARIO」の製品保証終了は令和7年11月30日である。

【対象】 愛知県内の看護師等養成所 35校（令和4年4月時点）

【使用期間】 令和4年4月1日から令和5年3月31日

【使用物品】 多職種連携ハイブリッドシミュレーターSCENARIO 8台

【実施体制】

- 1) 多職種連携ハイブリッドシミュレーターSCENARIO 1台を看護協会に保管し、実習希望がある各養成所が使用する。
- 2) 残り7台は、各養成所を7グループに分け、グループ内で調整し、実習に使用する。

【役割】

愛知県看護協会	・全体調整 ・看護協会内にSCENARIO1台を設置し、使用したい養成所があれば調整を行う ・故障時の対応
協力養成所	・グループ内の日程調整（日程変更、追加の調整） ・SCENARIOの保管、管理

【運用方法】

方法1：各養成所グループのシミュレーターの利用時

- ①各グループの協力校が中心に予定表をもとに運用する。
- ②予定表に従い、各養成所の指定期間に使用する。予定表以外の使用は協力校が調整し運用する。
- ③使用後は、チェックリストを参照し、不足・破損がないか確認する。
- ④使用後は、計画に沿った次の養成所へ搬送する。具体的な搬送日時は両校間で調整する。
- ⑤シミュレーターの運搬費用は、グループ間で相談し、設定し運用する。

方法2：看護協会配置のシミュレーター利用時

- ①予約 愛知県看護協会 教育センターへ電話もしくはメールで予約（3か月前から予約可能）  
TEL：052-871-0761 メールアドレス ana.jisyuhokan2020@gmail.com
- ②手続き 申請書（様式1）へ必要事項記入後メールもしくは郵送で提出  
返却時、報告書（様式2）を郵送またはメールで提出  
郵送先：〒466-0054 名古屋市昭和区円上町26番18号 公益社団法人愛知県看護協会  
メール先：ana.jisyuhokan2020@gmail.com
- ③使用場所 貸出による各養成所内での使用とする。

- ④貸出期間は原則 1 週間以内（移動日数も含むが、応相談）
- ⑤シミュレーター受け渡しは直接、または送付（運搬費は往復養成所負担）

使用状況の把握：使用後は、報告書（様式 4）を四半期ごとにメールで提出する。

使用期間	提出日	変更後
4/1～6/30	7/4（月）	→ 7/4（月）
7/1～9/30	10/3（月）	→ 10/3（月）
10/1～12/31	R5 年 1/5（木）	→ R5 年 1/4（月）
R5 年 1/1～3/31	R5 年 4/5（水）	→ R5 年 4/3（月）

メール先：ana.jisyuhokan2020@gmail.com

報告書の提出が期限に間に合わない場合は、その旨連絡する。

#### 使用上の注意点

- シミュレーターの使用方法に変更が生じた場合は愛知県看護協会教育センターへ連絡する。
- 取扱いには十分注意して破損・故障などないように注意する。
- 破損・故障時は速やかに教育センターに連絡する。
- 使用後は丁寧に洗浄・清拭・乾燥をし、汚れがないか確認する。特に、絆創膏などはきれいに除去する。
- シミュレーターチェックリストに基づいて点検し、開封した時と同様に収納する。

問い合わせ先：愛知県看護協会 教育センター

TEL：052-871-0761

令和 4 年 3 月 23 日作成

## 令和4年度 グループ分け・協力校

グループ		協力校	学校名
1 A	A-1	○	独立行政法人労働者健康安全機構 中部労災看護専門学校
	A-2		津島市立看護専門学校
3 B	B-1	○	愛知県立総合看護専門学校
	B-2		名古屋平成看護医療専門学校
5 C	C-1	○	愛生会看護専門学校
	C-2		名鉄看護専門学校
7 D	D-1	○	公立春日井小牧看護専門学校
	D-2		愛知総合看護福祉専門学校 (専門学校愛知保健看護大学校)
	D-3		公立瀬戸旭看護専門学校
10 E	E-1	○	愛知県厚生農業協同組合連合会 更生看護専門学校
	E-2		半田常滑看護専門学校
12 F	F-1	○	岡崎市立看護専門学校
	F-2		蒲郡市立ソフィア看護専門学校
14 G	G-1	○	県立愛知看護専門学校
	G-2		東三河看護専門学校